



# ほたる館だより

令和2年(2020年)

## 9月号

### ゲンジボタルの飛翔調査結果 ～市内67河川で9,234匹～

8月16日 ほたる館情報  
～イケボタル 216匹

北九州市内のゲンジボタルの飛翔調査(主催:建設局水環境課)が6月上旬に行なわれ、67河川・177地点で合計9,234匹の飛翔数が確認されました。一昨年6,869匹、昨年8,091匹、そして今年と年々増加しています。

毎年、前年7月の集中豪雨のため、今年の飛翔数はどうなるかははらしますが、今年も元気に姿を現してくれたので安心しました。川が洪水になるとホタルの幼虫が流されてしまうと思われがちですが、川底の石の下などに深く深く潜り込んでいるので、川底をえぐり取られるような洪水でなければ何とか生き延びているようです。



↑ ほたるマップ  
水環境課ほたる係が、今年の飛翔調査をもとに作成しています。ほたる館で配布しています。

### ほたる館の仲間たち



#### トノサマガエル

在来種ではヒキガエルの次に大きいカエル。かつては田んぼや池に多くいた日本を代表するカエルだが、激減し、準絶滅危惧種に指定されている。

### ホタル一口メモ

ホタルの卵はふ化する前に中身(幼虫)が透けて見える。

ホタルの卵はふ化する前に黒ずんできません。それは、卵の中の幼虫が透けて見えるようになるからです。顕微鏡で拡大すると、丸くなって動いているのが観察されます。卵の形も円形から楕円形にいびつになります。



産卵直後の卵



ふ化直前の卵

### 9月のイベント

- ほたる館ポスター原画展  
「ホタルと水辺の生き物たち」  
8/1(土)～10/31(土)
  - ホタルと連鶴の折り紙教室  
9/12(土) 13:00～14:00
  - 生き物講座  
「傷病鳥獣保護・ときわ動物園の取り組み」  
9/19(土) 14:00～16:00
  - 親子で学ぶ昆虫学入門  
「昆虫の種類を調べる」  
9/26(土) 14:00～16:00
  - ミツバチ講座  
「日本蜜蜂の生態・飼育・採蜜について」  
9/27(日) 14:00～16:00
- ※8月3日(月)より募集開始  
※中止になる場合があります。  
ご了承ください。

お申込み…お問い合わせはお電話で 093-561-0800

北九州市ほたる館  
TEL 093-561-0800  
〒803-0864 北九州市小倉北区熊谷2丁目5-1  
<http://www.hotarukan.jp/>  
西鉄バス45番・49番 第一熊谷町から徒歩5分  
開館時間 9時～17時 入場無料 駐車場あり  
休館日 火曜日(祝日の場合はその次の平日) 年末年始

Facebook



Instagram

